

磁石でかんたんロック・解錠

Safety Magnetic Lock

Safety マグネチックロック

取扱説明書



設置方法動画を
ご確認ください。

本製品について

このたびは、カーボーイ製品をお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用の前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
また、取扱説明書はいつでも見られる場所に大切に保管してください。

必ずお読みください 本製品は不審者などからの盗難事故を予防するもので、
利用者の方の注意や配慮に代わるものではありません。

使用上の注意事項

- お子様は予期しない行動を取ることがありますので、必ず保護者の監視下でご使用ください。
- 製品本来の目的以外には使用しないでください。●磁石キーや本体(これらには磁石が含まれています)を磁気記録媒体(例:磁気カード)、電子機器(例:時計)、映像機器、通信機器などに近づけると、動作が正しく行われなかったり故障する可能性がありますので、注意してください。
- 磁石キーを引き出し内部に入れないでください。ロックがかかると引き出しが開かなくなります。
- 引き出しや食器棚の中に磁石キーを誤って入れてしまった場合、市販の磁石を使用してロックを解除してください。
- 設置後は粘着力を安定させるため1日ほど負荷をかけないようにしてください。
- ロックを解除せず引き出しを無理に開けようとすると、本品が外れたり、本品や引き出しを破損する恐れがあります。
- 一度剥がした両面テープは再利用できません。

設置ができない扉や引き出し

- 貼り付け面が十分でない場合や段差がある場合、両面テープが剥がれやすくなり、ロックが正しく機能しません。
- 天板のない引き出しは、留め具の設置面が確保できないため、設置することができません。
- プッシュ式の家具やキャビネットなどは、開閉時に跳ね返る力が強いいため、ロックが外れたり破損することがあります。
- 厚さ4cm以上の扉やキャビネット(※横向きの場合は3.2cm以上)では、材質によっては磁力が届かず、ロックが正常に機能しないことがあります。
- 金属製やホーロー製など、磁気に反応する扉では、磁石キーが効かず、ロックが外れなくなる可能性がありますのでご利用をお控えください。

製造元 株式会社カーボーイ

〒283-0803 千葉県東金市日吉台7-17-15 お客様相談室フリーダイヤル
https://www.car-boy.co.jp **0120-110-457**

部品名称・商品入り数



ロックラッチの操作 ※ロックラッチは硬めの作りになっています。



ロックした状態

ロックのラッチを上方向へ、カチッという音が鳴るまで上げると、ロック準備完了になります。磁石キーを近づけてロックを解除します。



ロックを解除した状態

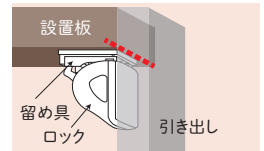
ロックのラッチを下方向へ、カチッと音が鳴るまで下げると、ロックは作動しません。
扉や引き出しを開けてもロックはかかりません。

設置前に 必ずご確認ください

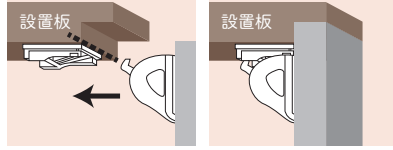
設置方法は3種類あり、家具の形状や配置に応じて、
留め具の位置を調整する必要があります。(具体的な設置は裏面をご参照ください)

設置方法① 通常の設定

●「留め具」の設置板に
引き出しが被さる場合



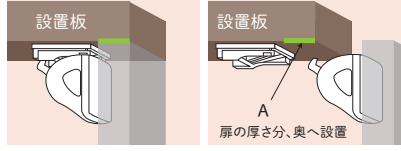
●「留め具」の設置板に段差がある場合



採寸なしで、「留め具」の設置板のフチ(赤点線)に合わせて「留め具」を設置します

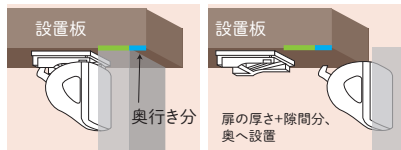
設置方法② 採寸が必要な設置

●「留め具」の設置板に
引き出しがぴったり入り込む場合



採寸が必要で、A:扉の厚さ分の採寸(緑線)を行って設置します。

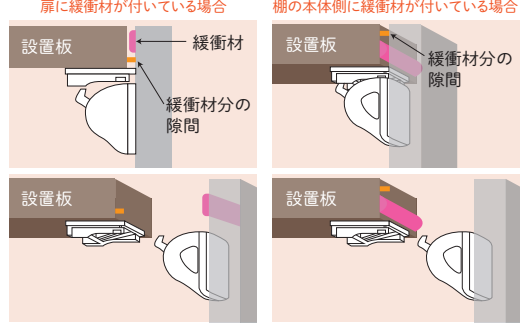
●「留め具」の設置板より
引き出しが置くに入り込む場合



採寸が必要で、B:扉の厚さ分(緑線)とC:奥行き分(青線)を行って設置します。

設置方法③ 採寸が必要な設置 (隙間あり)

●「留め具」の設置板と引き出しの間に
隙間(緩衝材など)がある場合



緩衝材の厚み分、手前に飛び出させて設置



採寸が必要で、隙間分(オレンジ線)の採寸を行って設置します。

設置ができない家具



× **プッシュ式のキャビネット**
オープン時に跳ね返る力が強いのでロックが外れ、破損する場合があります



× **十分な貼り付け面が確保できない
または貼り付け面に段差がある**
両面テープが剥がれやすくなり、ロックが十分に機能しない場合があります

× **4cm以上の厚い扉やキャビネット** (※横向きに設置したい場合は3.2cm)
扉の材質によって磁力が届かず機能しない場合があります



× **天板のない引き出し**
「留め具」の設置面が確保できず、設置できません
※上段の引き出しを抜いた際、下段の引き出しの中身が見えると天板なしタイプです

× **金属製やホーロー製など、磁気に反応する扉**
磁石キーが効かず、ロックが外れなくなる場合があります

△ **家具本体と扉に隙間がある**
隙間分の採寸で設置できる場合もありますが、ぐらつきが出てロックがかかりにくくなる、もしくは開きにくくなる場合があります

△ **開閉時、上下左右に遊びがある引き出し**
上下左右に遊びがあると、引き出しにぐらつきが出てロックが外れ、開いてしまう場合があります

設置方法③
採寸が必要な
設置
(隙間あり)
をご参照ください

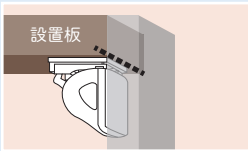
設置前の確認事項

- ・引き出しや扉にロック設置分の十分なスペースがあるかご確認ください。
※設置後、引き出し内の荷物や衣類がロックを圧迫すると、ロックが正常に作動しないことがあります。
- ・ロックを設置する家具を確認し、家具の本体と扉または引き出しの間に隙間がないことをご確認ください。
- ・本体と引き出しが垂直であることをご確認ください。
- ・設置する場所が平らである、貼り付けが可能な素材であるかご確認ください。

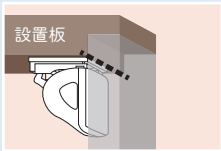


設置方法①
通常の設定

「留め具」の設置板に、
扉や引き出しが被さる
場合



「留め具」の設置板に、
段差がある場合



①「留め具」を写真の向きで「固定器」に奥まで差し込みます。



②「固定器」に「ロック」をはめ込みます。



③「留め具」のはく離紙をはがし、板のフチに沿わせて貼り付けます。「ロック」のはく離紙もはがします。



④引き出しを閉めて、「ロック」がしっかり貼り付くように押し付けます。



⑤「固定器」をスライドさせて取り外します。「留め具」は設置板に貼り付いたままになります。



⑥「ロック」のラッチを上方向に引き出し、カチッという音が鳴ったらロック準備完了です。



⑦引き出しを閉める前に磁石キーでロックのラッチが動かくか確認します。

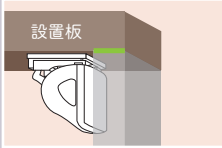
ロックが正常に動けば設置完了です

留め具を裏から見た図

設置方法②
採寸が必要な設置

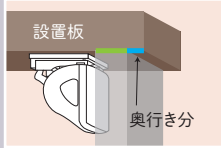
A：扉の厚さ分の採寸のみ

「留め具」の設置板に、
扉や引き出しがびったり
入り込む場合



B：扉の厚さ分+奥行き分の採寸

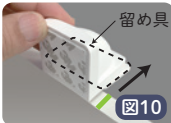
「留め具」の設置板より、
引き出しが奥に入り込む
場合



A
扉の厚さ分の
採寸のみ



①通常設置 図1 図2
②扉の厚みを採寸し、そのまま同様に、設置器具を組立てます。



②扉の厚みを採寸し、その分、「留め具」をずらしします。



③採寸位置を固定したまま、「留め具」のはく離紙をはがします。



④採寸位置をずらさないように、板のフチに沿わせて貼り付けます。



⑤その後は、通常設置方法まで同様です。



⑥「ロック」のラッチを上方向に引き出し、カチッという音が鳴ったらロック準備完了です。



⑦引き出しを閉める前に磁石キーでロックのラッチが動かくか確認します。

B
扉の厚さ分+
奥行き分の採寸



①通常設置 図1 図2
②扉の厚みを採寸し、そのまま同様に、設置器具を組立てます。



②扉の厚みを採寸し、その分、「留め具」をずらしします。



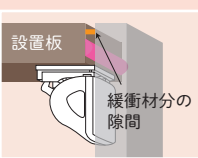
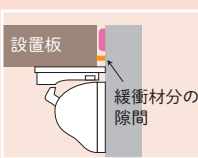
③採寸位置を固定したまま、扉の厚みを採寸し、その分、「留め具」をずらしします。



④採寸位置をずらさないように、板のフチに沿わせて貼り付けます。

設置方法③
採寸が必要な設置
(隙間あり)

引き出し、または
設置板に緩衝材が
あり隙間がある
場合



緩衝材は付いてないが
家具本体(設置板)と
扉に隙間がある場合



家具本体側(設置板側)
に緩衝材がある場合



①通常設置 図1 図2
②「留め具」の位置をずらさずに、「留め具」のはく離紙をはがします。



②「留め具」の位置をずらさずに、「留め具」のはく離紙をはがします。



③緩衝材の厚さ分飛び出すように、設置板に貼り付けます。



⑤その後は、通常設置方法まで同様です。



⑥「ロック」のラッチを上方向に引き出し、カチッという音が鳴ったらロック準備完了です。



⑦引き出しを閉める前に磁石キーでロックのラッチが動かくか確認します。

扉側(引き出し)
に緩衝材がある場合



①通常設置 図1 図2
②「留め具」の位置をずらさずに、「留め具」のはく離紙をはがします。



②「留め具」の位置をずらさずに、「留め具」のはく離紙をはがします。



③緩衝材の厚さ分を採寸します。



④採寸した緩衝材の厚さ分飛び出すように、設置板に貼り付けてください。

緩衝材ではなく隙間がある場合



①隙間分を採寸します。



②採寸した隙間分飛び出すように、設置板に貼り付けてください。その後は上記の図4～7まで同様です。